

わかりやすく、楽しく伝える沖縄県広報誌

沖縄県

美ら島 沖縄

ちゅらしまおきなわ

2024

7

vol.586

無料



特集 「第2回沖縄空手少年少女世界大会」 8月8日開幕!!

読者
プレゼント

抽選で計10名様に!

詳細はP15をCHECK



沖縄県はSDGsを推進します!

エスディーゼス

おきなわSDGs認証制度 《前編》

沖縄らしいSDGsを 目指して

SDGsの目標達成に向けては、さまざまな主体がそれぞれの立場から課題の解決に取り組むことが重要です。

県では、企業・団体の参画と連携を促進するため、令和元年度からSDGsに取り組む県内企業・団体を「おきなわSDGsパートナー」として登録する制度を運用するとともに、令和5年度にはこの取組をさらに強化するため「おきなわSDGs認証制度」を創設しました。

「おきなわSDGs 認証制度」とは?

「おきなわSDGs認証制度」は、SDGsの理念を尊重し、経済・社会・環境の3つの分野を意識した経営を実践する企業・団体などを県が認証することで、当該企業・団体等の持続的な成長および地域の持続可能な発展を図ることを目的としています。

令和5年度に第1回認証企業・団体の募集を行い、11団体を認証しま

した。令和6年2月には、認証式が開催され、玉城知事から今回認証された企業・団体に認証書が授与されました。

令和5年度に認証された 企業・団体のSDGsの取組 をご紹介します! 《前編》

認証を受けた企業・団体は2年間の認証期間の間に、沖縄の社会課題解決やSDGsの推進に向けさまざまな取組を行います。今回は《前編》として、認証を受けた企業・団体のうち5団体の取組の一部をご紹介します。

第2回認証企業・団体を 募集します!

県では、令和6年度も認証企業の募集を行っています。認証に関するある企業・団体の皆さまは、「おきなわSDGsプラットフォームホームページ」で内容をご確認のうえ、ぜひご応募ください!

「申請受付期間」
6月7日～7月26日



おきなわSDGs
プラットフォーム
ホームページ



おきなわSDGs
認証会員ロゴマーク

「おきなわSDGs アクションプラン」 とは

沖縄らしいSDGsを推進していくための基本理念や優先課題(①~②)などに対応した具体的なアクション、モニタリングの指標などをまとめたものです。



←全文を
読めます



企業名/主な取組	現状	2年後の目標
一般財団法人 沖縄県環境科学センター		
水産 HACCP 認証サポート (件数)	1件	3件
アスベスト分析体制の強化 (調査者、件数)	4人、9件	7人、30件
外来種対策の推進 (技術開発件数)	1件	2件
株式会社 福地組		
県産建築資材の活用 (利用割合)	10%	15%
健康経営優良法人認証取得 (基準を満たす項目)	64%	100%
ZEH仕様住宅の推進 (住宅建設でのZEHの割合)	6%	50%
株式会社 那覇電工		
県産品使用、県内優先発注 (使用実績、各現場30%以上発注の実績)	30%、 87%以上	32%、 89%以上
働く環境の改善 (年休取得率、月平均残業時間など)	91.3%、 32.5H	95%以上、 30H以内
排出権購入によるCO ₂ 排出ゼロ現場の実現 (件数、CO ₂ 削減量)	累計31件、 196 t	累計37件、 208 t
日本トランスオーシャン航空株式会社		
環境に配慮した観光コンテンツの開発 (件数)	1件	2件 (累計)
環境保全等社会貢献活動の強化 (取組数)	2件	3件 (累計)
事業により排出されるCO ₂ の削減 (CO ₂ 排出量)	約30万 t	約29万 t 未満
株式会社セブン-イレブン・沖縄		
県産黒糖利用促進 (販売アイテム数、使用料)	現状値を100	135%以上
小中高生向け出張講話、体験学習の推進 (回数)	4回	12回
廃ペットボトルの回収促進 (県内での回収本数)	現状値を100	150%以上



認証企業の取組についてはこちらから



おきなわSDGs認証制度
認証書



おきなわSDGs認証制度
第1回認証式

問い合わせ 企画調整課 電話: 098-866-2026 FAX: 098-866-2351

5月
23

令和6年度
沖縄県総合教育会議を開催

令和6年度沖縄県総合教育会議を開催しました。
県立高等学校自死事案に関する第三者再調査委員会調査報告書の提言について協議を行い、教育委員会と知事部局におけるそれぞれの現在の取組や、今後の方向性について認識を共有しました。

玉城知事は、「本件のような痛ましい自死事案が二度と起こらぬよう、教育委員会と知事部局が情報共有を図りながら連携して、再発防止に向けた取組を進めてまいります」と述べました。



5月
23

令和6年度
第1回沖縄県こども施策推進会議

県では、「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」の実現に向けて、切れ目のない支援や安心して子育てができる環境づくりなど、こどもの貧困対策を含めた「こども施策」をより一層推進していくため、令和6年度第1回沖縄県こども施策推進会議を開催しました。

会議では、令和6年度末に予定している「沖縄県こども計画（仮称）」の策定に向け、全庁を挙げて連携した取組を進めていくことが確認されたほか、こどもたちの社会参画や意見表明の機会づくりについて報告が行われました。



5月
27-28

玉城知事が大宜味村、国頭村および東村を行政視察

玉城知事は、大宜味村、国頭村および東村を訪れ行政視察を行いました。

行政視察は、地域の状況を知事自ら把握し、現場に根ざした政策の推進に寄与することを目的として実施しています。

やんばる3村の現場・施設などを視察したほか、大宜味村長、国頭村長および東村長と面談を行いました。



5月
29

池田副知事が済州フォーラムに参加

池田副知事は、韓国済州特別自治道で開催された第19回済州フォーラムの特別セッション「平和と繁栄のための韓日中地方リーダーシップ」に登壇し、済州特別自治道、沖縄県および中国海南省が取り組む地域外交の成果やビジョンについて対話をしました。

池田副知事は、県が従来から国際交流や平和に関するさまざまな施策に取り組んできたこと、そして今こそ国内外の各主体と緊密に連携し、分野横断的かつ総合的に沖縄独自の地域外交を展開していくことが必要との考えを述べ、県がアジア太平洋地域の平和構築や相互発展へより積極的な役割を果たしていく意向を示しました。



県の地域外交を説明する池田副知事

7 2024 JULY 美ら島 沖縄

vol.586
ちゅらしま おきなわ

沖縄の人口・世帯の動き
2024年5月1日現在

146万6,357人
総人口 ※前月比4,311人増加

64万7,820世帯
世帯数 ※前月比4,409世帯増加

沖縄県庁広報課
公式LINE
@okinawa-government



沖縄県庁広報課
公式X (@Twitter)
@okinawa_pref



今月の表紙

「奥武島のトビイカ」



トビイカの両面をしっかりと天日にさらすため、ひっくり返すのは手作業で。沖縄の陽射しと潮風でおいさがぎゅっと凝縮されます。

本号の電子Book版とバックナンバーはホームページでご覧いただけます。

[美ら島沖縄の設置場所] [美ら島沖縄]



県内コンビニ、モノレール各駅等で無料配布しています。また、公共機関や銀行、病院など多くの方々が利用する施設でもご覧いただけます。新規設置施設も受け付けていますので、関心のある方は広報課までご連絡ください。なお、全世界向けの戸別配布は致しかねます。ご了承ください。



「第2回沖縄空手少年少女世界大会」 8月8日開幕!!



「第2回沖縄空手少年少女世界大会」が開幕します!

沖縄を発祥の地とする空手は、「平和の武」として世界中に広がり、現在では、世界190か国余り、約1億3千万人も空手愛好家がいるといわれています。

その空手発祥の地・沖縄で、沖縄空手を正しく保存・継承し、将来にわたっての振興を図るため、今年8月8日(木)から12日(月)までの間、沖縄コンベンションセンターで「第2回沖縄空手少年少女世界大会」を開催します。

本大会では、6歳以上14歳以下の少年少女が出場する競技大会が開催され、日本を含む17の国と地域から多くの選手が出場します。どなたでも無料で観戦できますので、気迫のこもった選手の演武をご覧ください。また、開会式では、子どもたちによる交流演武のほか、沖縄県指定無

形文化財保持者など沖縄空手の高段者による空手の演武もご覧いただけます。

みんなで楽しめる

「沖縄空手フェスティバル」

初の試みとして「沖縄空手フェスティバル」を開催します!

フェスティバルでは、大会3か月前イベントでも大人気だった瓦割り体験やステージイベントなどをお楽しみいただけるほか、キッチンカーではおいしいお食事をご用意しております。

子どもから大人まで、空手家以外の方も楽しめる内容となっておりますので、競技大会の応援と併せて、フェスティバルにもご参加いただき、空手世界大会と一緒に盛り上げましょう!
ご家族やご友人をお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。



大会公式
ホームページ・
SNSの紹介



大会公式ホームページ



大会公式 Instagram

大会公式ホームページで大会情報を掲載しているほか、大会公式SNSでは事前イベントや県内予選の様子、大会公式グッズなどの紹介を行っています。



「きいやま商店」が
大会公式応援隊に決定!!

石垣島出身の従兄弟・兄弟で結成されたエンタメ親族ユニット「きいやま商店」が大会公式応援隊に決定しました!

また、本大会のために制作した応援歌「全力全開心技体」は、沖縄らしい、アップテンポな曲となっておりますので、大会公式ホームページでぜひご試聴ください。



大会3か月前イベントでの瓦割りの様子

大会
スケジュール



会場		沖縄コンベンションセンター		
月日	会場	展示棟	劇場棟	中央広場
8月	8日(木)	開会式・交流演武会		
	9日(金)	競技大会：海外・県外・県内離島予選	沖縄空手セミナー	沖縄空手フェスティバル
	10日(土)			
	11日(日)	競技大会：本大会（準々決勝戦まで）		
	12日(月)	競技大会：本大会（準決勝・決勝戦） 閉会式・表彰式		

※競技大会および沖縄空手セミナーは、参加申込みを終了しています。

前回大会の様子



競技大会



閉会式・表彰式

開会式



空手セミナー



問い合わせ 空手振興課 電話：098-866-2232 FAX：098-866-2208

第3回 観光編



産業の歴史をひもとく年代記 沖縄産業 クロニクル

県民の暮らしに密接に関わる
さまざまな産業はどう始まった？
その変遷と展望を紹介します。
監修・山内昌斗(専修大学経営学部教授)



沖縄の魅力と観光産業

昭和のはじめ、日本は慢性的な経済不況にあり、沖縄もソテツ地獄と呼ばれる苦境に陥りました。事態を打開するために人々が試みたのが、観光産業の育成。しかし、貧困にあえぐ島は観光の魅力に乏しく、やがて戦時色が強まると、観光産業による発展の夢は消え去りました。戦後しばらくすると、日本本土から沖縄戦で親族・知人を亡くした人々が、慰霊の旅で沖縄を訪れるようになりました。一方で、米国統治下の沖縄には舶来品があふれており、ショッピングを目的とした観光客も増えてきました。この動きをみた米国民政府は、沖縄の海洋観光地化を企画し、ハワイなどに調査



本土復帰前の
沖縄旅行は
パスポートが必要



観光客を迎える「WELCOME TO NAHA」のゲートが特徴の1967年の那覇空港(沖縄県公文書館所蔵)



ドルで買い物を楽しむ観光客(那覇市歴史博物館提供)

団を派遣。リゾートという言葉がまだ知られていない時代、人々は海が観光資源になるということに疑問を抱いていました。本土復帰後、県は観光開発基本計画の策定、観光振興条例の制定などにより、観光産業の育成に力を注ぎます。観光関連団体や民間企業も調査研究やイベント開催などにより、観光産業の活性化を試みました。こうし

沖縄国際海洋博覧会は
本土復帰記念の
一大イベント



1975年の沖縄国際海洋博覧会開催に向けて設置されたカウンタダウンタワー(沖縄県公文書館所蔵)



海洋博PR団出発式(沖縄県公文書館所蔵)



海洋博の水上ショー(沖縄県公文書館所蔵)

た施策が功を奏し、令和元年には入域観光客数が1千万人を突破。観光は沖縄の主要産業へと発展を遂げました。近年では、沖縄の自然や観光施設、歴史や文化の魅力に加え、沖縄の人々の温かさや優しさといった内面にひかれ、訪れてくる人々も増えました。観光立県としての沖縄の魅力はさらに深まりつつあります。

1990年代
後半から
沖縄ブームに



NHK朝の連続テレビ小説「ちゅらさん」は1990年代後半からの沖縄ブームの火付け役に。舞台となった小浜島には記念碑も建てられている(竹富町観光協会提供)



1990年頃の那覇市泊港での海中観光船試乗会(那覇市歴史博物館提供)



2014年に運用開始した那覇港泊埠頭若狭パースは沖縄のクルーズ船観光の玄関口



沖縄観光年表

昭和

- 1936年 沖縄観光協会設立
- 1937年 大阪商船「沖縄視察団」遊覧ツアー実施
- 1941年 那覇市波の上に沖縄初の貴賓ホテル、沖縄ホテル開業
- 1960年 琉球政府工務交通局陸運課に観光係を新設
- 1975年 沖縄国際海洋博覧会開催
- 1976年 沖縄県観光開発基本計画(第一次)策定
- 1977年 JAL沖縄キャンペーン開始
- 1978年 ANA沖縄キャンペーン開始

平成

- 1990年 第1回世界のウチナンチュ大会開催
- 1992年 首里城公園一部開園
- 1996年 (財)沖縄観光コンベンションビューロー発足
- 2000年 九州・沖縄サミット首脳会合開催
- 2000年 「琉球王国のグスク及び関連遺産群」が世界遺産に登録
- 2001年 NHK「連続テレビ小説」で『ちゅらさん』放映
- 2002年 沖縄美ら海水族館開館

令和

- 2019年 火災により首里城が焼失
- 2021年 「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」がユネスコ世界自然遺産登録
- 2022年 NHK「連続テレビ小説」で『ちむどん』放映

注目トピックス



3 (在りし日の首里城正殿)

琉球王国の象徴、首里城

沖縄戦で焼失した首里城は1992年に一部復元されましたが、2019年10月に発生した火災により再び焼失しました。火災後多くの支援が寄せられ、2022年11月より復興工事がスタート。現在は「見せる復興」をテーマにした工事の様子が見学できます。2026年の正殿完成に向け復興の歩みを着実に進めています。



2 (御菓子御殿での初期の紅いもタルト製造風景／御菓子御殿提供)

読谷村の村おこし事業から誕生

1986年に読谷村で、村おこし事業として開発されたのが御菓子御殿の「元祖 紅いもタルト」。現在では日常のお菓子、そして沖縄の代表的な土産品として定着しています。地域への想いが込められた紅いもタルトの成功は、地域活性化の成功事例としても注目されています。



1 (沖縄国際海洋博覧会メイン会場アクアポリス／那覇市歴史博物館提供)

祖国復帰記念！沖縄国際海洋博覧会

1975年に開催された沖縄国際海洋博覧会は、沖縄の経済発展の起爆剤になることが期待されましたが、石油危機による景気後退期と重なり、入場者は伸び悩むことに。開催後には倒産や失業者も増加。ただ、道路や港湾、空港などのインフラ整備が進んだため、沖縄の観光産業興隆の契機になりました。

さらなる発展の鍵を握る高付加価値化

本島北部に新たなテーマパーク「ジャングリア」が、2025年開業予定であると発表されました。沖縄観光産業は滞在日数の長期化、1人当たり観光消費額の増加の達成といった課題を抱えてきました。ジャングリアの誕生をきっかけに、沖縄観光産業が量(観光客数)を追い求めてきた観光から、質(高付加価値)を重視した観光へと変わることができるのか注目されています。



画像提供：ジャパンエンターテイメント





沖縄県が認証する 「琉球料理が味わえる店」を 募集します



県では、琉球料理を基盤とする「沖縄の伝統的な食文化」の普及・提供を推進するため、県民や観光客の皆さまに「琉球料理」の魅力を発信することができる県内飲食店を「琉球料理が味わえる店」として認証する制度を令和5年度から実施しています。

県産食材を使った料理を提供し、琉球料理の味わいや魅力を知ってほしい、そんな思いをもった「琉球料理が味わえる店」を7月16日から募集します。

今年度の募集内容を7月16日から県文化振興課の食文化関連ホームページ*に掲載します。認証制度に興味のある飲食店などの方は、ぜひご確認ください。

■ 認証制度の申込みに関する問い合わせ

★ 沖縄県
文化観光スポーツ部 文化振興課
食文化関連ホームページ



沖縄の伝統的な
食文化ホームページ



伝えよう 広めよう
ウチナーの食文化



「琉球料理が味わえる店」
認証制度運営事務局（沖縄）TB 株式会社内
電話：098-860-7704

「沖縄の伝統的な食文化」とは

琉球料理という沖縄独自の料理文化に基盤をおき、食材や調理法、風俗習慣などのさまざまな要素を包含した生活文化です。

その底流には、自然や気候風土の尊重、家族・親族や地域とのつながりを大切にする精神、日中両国はじめ各国との交流による影響などがあります。



東道盆(トウonderブun)

琉球漆器の代表的な器。中の小皿には色や形が美しく、冷めても味の変わらない上質な酒の肴を客の数に合わせた数で盛り付けます。



ゴーヤーチャンプルー

夏野菜の王者といわれているゴーヤー(苦瓜)と豆腐の炒めもので、最も親しまれているチャンプルー料理。ゴーヤーはビタミンに富み、苦みは食欲を刺激するとされています。

問い合わせ 文化振興課 電話：098-866-2768 FAX：098-866-2122

広告